

## オレオレ詐欺被害を水際阻止！ (第十三弾)

今年7月、**智頭警察署管内**の金融機関において、職員の方が適切な措置を行ったことにより、オレオレ詐欺被害を水際阻止しました。

今回の事例は、とあるお宅に孫を騙る男性から

「車を擦ってしまった。このことはまだ誰にも話してない。」

旨の電話があり、お金の要求はなかったものの、電話を受けたAさんがお孫さんのことを心配し、金融機関に赴いてお金を振り込もうとしたものです。

Aさんから相談を受けた職員の方が、交通事故の示談金等を名目にお金を請求するオレオレ詐欺を疑い、警察に通報するなどしたことで、詐欺被害を未然に防ぐことができました。

今回の事例を紹介しますので、参考にさせていただき、詐欺の被害に遭わないよう注意しましょう。

① ある日の夜、Aさんのお宅に1本の電話が・・・

犯人：もしもし、僕だけど。  
(孫のフリをして信じ込ませる。)



Aさん：●●？

(孫の声だと疑わず、犯人に「●●」と名前を伝えてしまう。)

犯人：うん。●●。  
車を擦ってしまった。  
このことは誰にも言っていない。  
(「●●」という名前を知り、さらに孫になりきる。)

Aさん：お金が必要なの？

(Aさんは、孫の●●さんからの電話だと信じ込む。)

犯人：お金は必要ない。

Aさん：分かった。  
今後は、事故せんように気を付けるで。



② 電話を切るも、Aさんは心配になり・・・

Aさん：お金は必要ないって言ったけど、修理のこともあるし、●●は、お金に困るとるかもしれんなあ。

明日、××に行って、5万円ほど振り込んでやろう。

(Aさんは、孫の●●さんに対して、電話をかけてきた事実を確認せず、また、家族の誰にも相談しないまま、お孫さんにお金を振り込むことを決意)



③ 次の日、Aさんは金融機関「××」に行き・・・

Aさん：職員さん。孫が車で事故を起こしてしまったようだ。  
お金を送ってやりたいけど、どうしたらいいだろうか。

～裏面に続く～

④ 職員さんが、Aさんから詳しく話を聞いた結果・・・

**職員：これは、交通事故の示談金等を名目にお金を請求するオレオレ詐欺かもしれない！  
警察に連絡しよう！**

**Fine Play!**

⑤ 警察官が××に駆けつけ・・・

●●さんを含めたAさんの親族全員に対して、Aさんに電話した事実を確認したところ、親族全員がAさんに電話した事実はなく、オレオレ詐欺のアポ電（オレオレ詐欺の予兆電話）と判明しました。

今回のように、「交通事故を起こしてしまった・・・」と電話をかけてくる場合、事例以外のパターンもあります。

全国的には、次のような電話も発生しています。

**これも注意！！**



パターン①



もしもし、俺だけど。  
会社の車で飲酒運転をして、事故を起こした。  
社長に知られたら会社をクビになる。  
保険で修理できるけど、一時的に現金で立て替えないといけな  
いから、口座に●●万円振り込んでほしい。

パターン②



▲▲県警察の××です。  
お宅の息子さんが、交通事故を起こしました。  
被害者は、妊婦さんで、事故の衝撃で破水しています。  
至急、賠償金を支払う必要があります。  
●●万円をすぐに振り込んでください。

いかがでしたか。

これらの電話以外にも、孫を名乗る人物から「風邪をひいて声が変わった。」「電話番号が変わったので登録し直してほしい。」などの電話がかかってくることもあります。これらの電話がかかってきた場合は、全て詐欺の電話である可能性大です。警察がお金を要求することはありません。

オレオレ詐欺の被害に遭わないためには、まず

**自分自身も騙されるかもしれない**

という認識を持つことが大切です。

そして、実際にこのような電話がかかってきた場合は、

- 1 慌てず冷静になる**
- 2 必ず相手側から名前を名乗らせる**
- 3 一旦電話を切って家族等に確認する**

ことを実践しましょう！



智頭警察署 0858-75-0110

警察総合相談電話 #9110